



# 教育委員会だより

PLAN THE NEXT ~Grit Global Growth~

教育委員会の今が分かる

第31号

発行日:令和5年2月13日(月)

発行人:さいたま市教育委員会

## 「OECD PISA-based Test for Schools」の結果を報告します

### OECD PISA-based Test for Schools とは

OECD(経済協力開発機構)による国際調査で、15か国延べ9,000校以上で実施しています。日本では、埼玉県が唯一実施しました。

#### 調査の対象 調査の目的

義務教育段階にある15歳の生徒  
これまで身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを図り、その結果を教育施策の改善や見直しに活かすこと

※ PISAが国別に結果を提供しているのに対して、PISA-based Test for Schoolsは、学校別に結果を提供しています。

### 調査の概要

	さいたま市立大宮南中学校	さいたま市立浦和中学校	さいたま市立大宮国際中等教育学校
実施校及び実施日	令和4年3月1日	令和4年3月4日	令和4年3月5日
調査項目	読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査(2時間) 生徒質問調査(30分)		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ PISA調査と同様の構成で、調査項目は非公開</li> <li>◆ 学校所有のタブレット端末を活用し、オンライン環境によるCBT(Computer Based Testing)方式で実施</li> </ul>		

PISA for Schools  
2022



### さいたま市の結果概要について

#### ●読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査

	読 解 力	数学的リテラシー	科学的リテラシー
さいたま市立学校参加校平均得点	591	628	603
(参考) 2018OECD PISA調査 日本得点	504	527	529
(参考) 2018OECD PISA調査 OECD得点	487	489	489

※ 全ての項目において、2018年PISA調査によるOECD得点及び日本得点を上回りました。

#### ●生徒質問調査

- ◇ 「科学を学ぶことは、自分の将来にとって大切だ」と感じる生徒の割合が高い。
- ◇ 「先生が学習の目標をはっきり示し、学習内容を説明している」と感じる生徒の割合が高い。
- ◇ 教室の雰囲気に関して、「騒音や無秩序を経験している」と回答した生徒が全くない。

#### ★★★OECD 教育スキル局 アナリスト 大久保 智哉氏からコメントをいただきました★★★

- ◆ さいたま市参加校においては、OECD加盟国に比して学習習熟度のみならず、学校生活や意欲・態度においても高い達成が見られる。特に浦和中学校の得点は、とても高いレベルでの学習状況の達成が見られる。また、3校の解答状況から、情報端末の扱いに慣れていることが伺いみられ、GIGAスクール構想による効果かもしれない。
- ◆ TALIS報告書(OECD国際教員指導環境調査)や本調査の結果から、「成績上位と下位の差が少ないこと」「教員の勤勉さ」「効率的な学習への取組」が挙げられる。

## 「イノベーションプログラム」を実施しました

～未来を生きるトップリーダーとして活躍できる人材の育成を目指して～

市教育委員会では、市立高等学校及び中等教育学校後期課程の生徒10名を、1月22日から30日までの9日間アメリカ・シリコンバレーに派遣しました。そこで、Google、Oracle、Stripeといった企業を訪問し、世界的企業での働き方や考え方についてインタビューしました。



### INNOVATION PROGRAM



また、スタンフォード大学では、学生と意見交換したり、教授による特別講義にも参加したりしました。

さらに、参加生徒は、10月から学んでいる「デザイン思考」を活用した自分たちのビジネスプランを投資家にプレゼンテーションし、フィードバックをしていただきました。

世界から学び、世界に挑戦する態度を養い、様々な分野でグローバルに活躍するリーダー、イノベーターとなる人材を、さいたま市から輩出できるように努めてまいります。

## 「さいたま読解力チャレンジ」を実施しました

児童生徒の読解力を把握・分析し、目的に応じて「従来型の読解力」(本や文章に向き合って読み深める力)と「PISA型の読解力」(デジタルや紙の違いにかかわらず複数のテキストを比較・関連させながら読み込む力)を自由自在に働かせながら、多種多様な資料を読み解き、活用できる児童生徒の育成を図るため、本年度より実施しました。児童生徒が今日的な課題に応じた読解力を身に付けられるよう、授業をはじめ、全ての教育活動に今回の結果を生かしてまいります。

- 日程 小学校:令和5年1月31日(火)、中・中等教育学校:令和5年1月25日(水)
- 対象 小学校5学年全児童、中・中等教育学校2学年全生徒
- 特徴 タブレット端末により、文部科学省CBTシステム「MEXCBT」を活用して実施



## 教育長室の窓から

1月22日から実施したアメリカのシリコンバレーへの市立高等・中等教育学校の生徒派遣事業「イノベーションプログラム」に帯同しました。日本スポーツ会議2023のシンポジウムに出席するため、私自身は2日ほど遅れて現地入りし、その後、スタンフォード大学での特別講義や世界をリードする著名な企業の方々との対談等に生徒と共に臨みました。英語で積極的に質問する生徒たちの姿が頼もしく、とても意欲を感じました。さらに、滞在期間後半を迎え、今回の重要なプログラムとなる企業家支援センターでのワークショップに参加した際には、自分たちが創ったビジネスプランを堂々と提案する姿を目の当たりにして、大変誇りに思いました。帰国後の現在、生徒それぞれが、本プログラムを通じて習得したノウハウを学校や自身のネットワークの中で還元するとともに、培われた様々な能力を存分に発揮していることでしょう。ハイテクノロジーとイノベーションの世界的な中心地で体験した貴重な学びを今後の生き方に確実につなげ、世界と向き合い、持続可能な社会の創り手のトップリーダーに成長し、活躍することを期待しています。

### 編集後記



教育委員会だより第31号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。

【第31号編集担当】 管理部 教育政策室 048-829-1626



## 令和4年度教育委員会表彰

令和5年1月4日(水)、ときわ会館5階大ホールにおいて、教育委員会仕事始めの式に引き続き、表彰式を行いました。



### 教育功労賞

教育行政・学校教育の振興発展に尽力し、その功績が特に顕著な7名の方を表彰しました。

表彰者は以下のとおりです。

小田嶋 哲	副教育長
千葉 裕	学校教育部 部長
藤澤 美智子	本太小学校 校長
渡邊 祐子	常盤中学校 校長
吉田 賀一	土合中学校 校長
富田 英雄	大宮北中学校 校長
関田 晃	大宮国際中等教育学校 校長



### 優秀教職員表彰

資質に優れ、模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている8名の教職員と1校の教職員組織を表彰しました。

表彰者は以下のとおりです。

中尾小学校	泉 正人 (国語科)
善前小学校	持木 沙和子 (特別活動)
栄小学校	杉田 起子 (音楽科)
下落合小学校	有江 聖 (G・S)
内谷中学校	高島 温子 (学校保健)
片柳中学校	小杉 法照 (数学科)
八王子中学校	大室 明希子 (学校給食)
大宮国際中等教育学校	福島 知明 (社会科)
大原中学校	(主権者教育)



### 教育委員会職員表彰

日々の職務に真摯に取り組み、他の模範となる職員として、各部等から推薦された方の中から6名の職員を表彰しました。表彰者は以下のとおりです。



橋本 祥希	学校施設管理課 主任
荒井 紫穂	学事課 主事
出木 雄太	青少年宇宙科学館 主査
吾妻 郁斗	大古里公民館 主事
渡辺 竜行	桜図書館 主事
永谷 明子	大砂土小学校 業務主査

